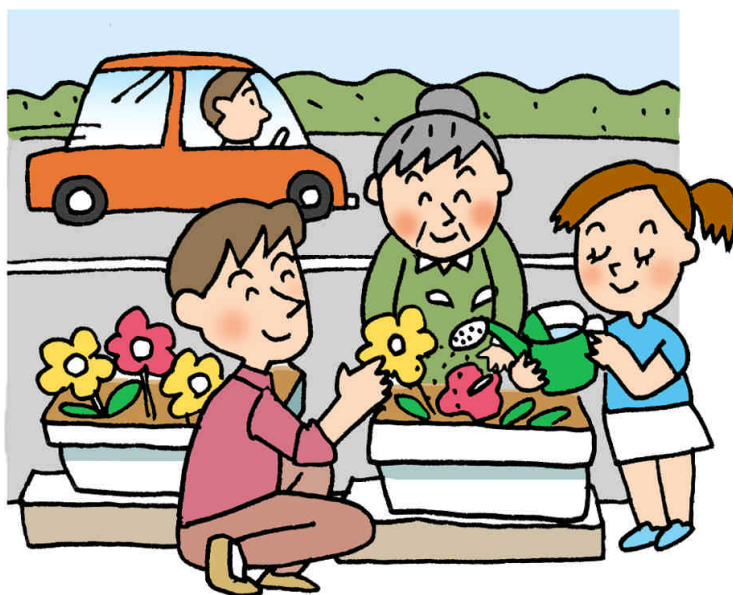


自治会ハンドブック

(平成 25 年度版)



えびの市

目 次

1	自治会の役割	1
2	自治会の組織	3
3	市からの補助金	5
4	市の業務、担当課・窓口	6
5	自治会加入促進	8
6	自治会の個人情報保護	9
7	自治会の法人化（認可地縁団体）	11
8	市からのお知らせ・お願い	12
	（1）防災行政無線の取扱いについて	12
	（2）災害発生時の報告と対応について	13
	（3）道路の安全・維持管理について	14
	（4）七夕道づくりについて	15
	（5）農道の維持補修について	15
	（6）農地・農業用施設の災害復旧事業について	16
	（7）「市長と語ろう会」について	18
	（8）「緑の募金」について	21
	（9）文化センター各部屋の利用について	22
	（10）市民体育館・各地区体育館の利用について	23
	（11）公用車・備品の貸出しについて	25
	（12）地区担当職員・地域コミュニティ担当者について	26
9	行政事務連絡業務	28
	（1）自治会加入世帯数の変更について	28
	（2）行政事務連絡員（自治会長）の交代について	28
	（3）家畜頭羽数及び飼料作物の作付面積の調査について	29
	（4）平成 25 年度転作推進活動計画について	30

（資料）自治会加入促進チラシ

1 自治会の役割

自治会とは

自治会は、一定の区域に住む人々が自主的に構成する任意の団体です。

区域内に住んでいる人は、誰でも自治会員になることができます。

性別、年齢などの条件はなく、日常生活の中での様々な地域課題を解決し、住民同士が協力・連携して自分たちのまちを住みやすくしていくことを目的としています。

重要性が増す自治会

少子高齢化が進む中、一人暮らしの高齢者の増加や、核家族化の進展などにより、個人や家族だけでは解決できない問題が、ますます増えています。

また、災害などの「いざというとき」には、自治会の役割が非常に重要になってきます。



自治会の役割

自治会は、自分たちのまちを住みよいまちにするため、市民生活に直結した重要な役割を担っています。

●地域住民の親睦と連帯の場

地域のまつりや旅行、敬老会などを通じて、お互いの顔が見える人間関係をつくり、楽しさを共有することにより、地域の交流が深まり、信頼関係が育まれます。

住民間の連帯と協調を深めることは、明るい地域社会づくりにもつながります。

●地域課題の発見と解決の場

ごみステーションの維持管理、道路・公園の整備、防災・防犯などの地域環境の整備に関する諸問題は、個人や家庭では解決するのがむずかしく、地域の住民が力を合わさなければ解決できない問題です。



これらの問題について、自治会では、十分話し合い、利害を調整し、地域全体の共通課題として、一つずつ解決していきます。

●行政との協働

広報紙の配布や回覧などを通じて、行政や各種団体からの情報を伝えます。また、地域の声を行政に反映するための行政とのパイプ役を担います。

地域において、行政と自治会が、それぞれの役割を認識し、自治会だけでは解決できない課題について、行政と協働で解決していきます。

2 自治会の組織

自治会の運営

自治会は地域における自主的な団体であり、その活動には、地域の人々が、様々なかたちで参画します。会員の方々が楽しく、活発に活動できるよう、自治会の運営は民主的に進めることが求められます。

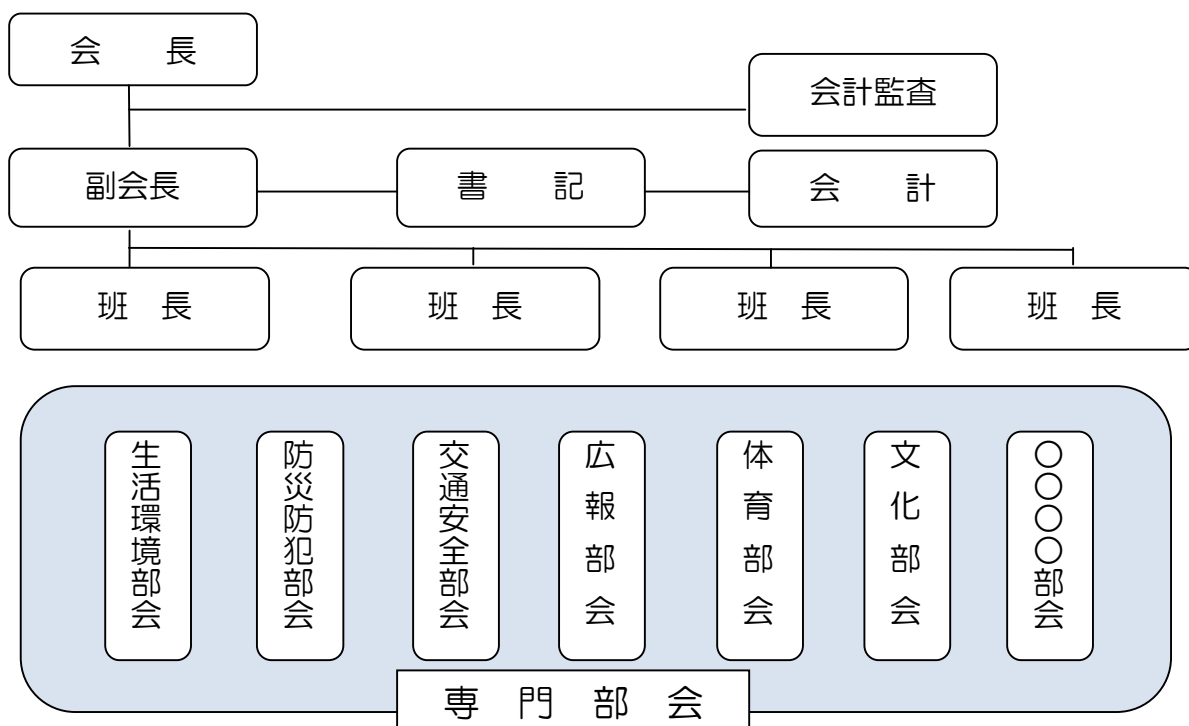
●会則（規約）

自治会が、民主的な組織となるためには、会員にわかりやすく、会員相互で納得のいく会則（規約）が定められていることが大切です。

会則（規約）に定める内容については、一般的には、次のような事項があります。

- ①総 則：目的、名称、区域、会員、入会や退会などの事項
- ②役 員：役員の種類、任期、選出方法、役割分担
- ③会 議：会議の種類、議決事項、議決の方法
- ④会 計：会費、収入・支出に関する事項

●組織の例



自治会の役員

●役員構成

自治会の役員には、主に次のようなものがあります。

〔会 長〕会をまとめる最高責任者であり、また、対外的には、会の意思を伝える代表者となります。

〔副 会 長〕会長を補佐します。自治会活動（自治公民館活動）を主に担当するなど、会長に負担がかたよらないよう役割を分担します。

〔会 計〕現金の出納や会計書類の整備、備品の管理など会の出納責任者となります。

〔書 記〕会議の記録をとったり、会の庶務を担当したりします。

〔班 長〕会員の意見を役員会に伝え、決定された内容を会員に伝えるとともに、会の決定に参加する代議員的な役割があります。

〔専門部長〕専門部の責任者として会議に参加し意見を述べるとともに会の意思を部員に伝えます。

〔会計監査〕会計事務や財政支出が適切であるかなどを監査し、総会で報告します。



3 市からの補助金

自治公民館整備費補助金



自治会活動の拠点である自治公民館の新築、購入、移転、改修等の費用の一部を補助します。

新築、購入、移転は、事業費の2分の1以内で補助限度額は、新築1千万円以内、購入及び移転5百万円以内です。

改修、附属施設の設置等は、事業費の3分の1以内で補助限度額は3百万円以内。備品購入は、事業費の4分の1以内で補助限度額は50万円以内です。（高齢化率が50%以上の場合は、補助率・補助限度額が優遇されます。）

防犯灯電気料一部補助金

自治会が設置した防犯灯の電気料の一部を補助します。
補助額は、年間電気料の3分の1以内の額です。



自治組織活動補助金（ぷらいど21助成金）

自治会、地区自治会連絡協議会、地域運営協議会が行う生き生きとした地域づくり活動に対して補助します。

補助限度額は、自治会活動助成金が単年度5万円以内です。

助成期間は、3年以内です。

※詳細については、「市民協働課 電話35-1111（内線353）」まで。

4 市の業務、担当課・窓口

自治会と関わりの深い市の担当課・窓口

えびの市役所 電話 35-1111

業務内容	担当課	電話・内線
・自治会のことで相談したいとき ・コミュニティセンターの利用に関する事 ・世代間交流体験活動事業、地域活性化活動 奨励事業などに関する事	市民協働課 コミュニティセンター 飯野 上江 加久藤 真幸	352・353 33-0030 33-5799 35-2268 37-3221
ぷらいど21助成事業に関する事	市民協働課	352・353
回覧文書に関する事	市民協働課	352・353
「広報えびの」に関する事	企画課 情報係	451
消防団活動に関する事	総務課 防災対策係	316
防災行政無線に関する事	総務課 防災対策係	316
戸別受信機に関する事	総務課 防災対策係	316
防犯灯に関する事	市民協働課	352・353
カーブミラーに関する事	市民協働課	352・353
市道に関する事	建設課 補修係、維持係	244・235
市道・河川の災害に関する事	建設課 維持係	235
農道に関する事	農林整備課 土地改良係	225
農道・農業用施設の災害に関する事	農林整備課 土地改良係	225
林道に関する事	農林整備課 林務係	221
林道・山地の災害に関する事	農林整備課 林務係	221
家畜等の伝染病予防防疫に関する事	畜産農政課 畜産振興室	236
認定農業者、集落営農組織、農業法人に関する こと	畜産農政課 担い手対策 係	233・234
グリーンツーリズムに関する事	畜産農政課 農政企画係	241

業務内容	担当課	電話・内線
水田転作に関する事	畜産農政課 農産園芸係	223
道の駅に関する事	畜産農政課 農政企画係	241
川内川漁協に関する事	畜産農政課 農産園芸係	223
ごみの収集・持込に関する事	美化センター	33-5782
浄化槽設置に関する事	市民環境課 生活環境係	286
市営住宅に関する事	財産管理課 住宅係	343・344
予防接種、検診等健康に関する事	健康保険課 市民健康係	275・281
国民健康保険、後期高齢者医療保険に関する事	健康保険課 医療保険係	273・274
国民健康保険税、後期高齢者医療保険料に関する事	健康保険課 賦課徴収係	282・296
介護保険などに関する事	長寿介護課 介護保険係	287・289
高齢者福祉（高齢者クラブ、虐待、いきがいづくりなど）に関する事	長寿介護課 高齢者係	268
高齢者福祉バスに関する事	長寿介護課 高齢者係	268
福祉（高齢者）タクシー利用助成に関する事	長寿介護課 高齢者係	268
在宅老人等介護手当に関する事	長寿介護課 地域包括支援センター	277・278
高齢者の総合相談に関する事	長寿介護課 地域包括支援センター	277・278
子育て支援、保育所、学童保育に関する事	福祉事務所 子育て支援係	267・269
犬の登録、狂犬病予防接種に関する事	市民環境課 生活環境係	286
水道、道路上の水漏れに関する事	水道課 工務係	292・293
文化センター会議室などの利用に関する事	社会教育課 文化係	35-2268
市民体育館、各地区体育館の利用に関する事	社会教育課 市民体育係	35-2268
「緑の募金」に関する事	農林整備課 林務係	221・229
赤い羽根共同募金に関する事	社会福祉協議会	35-2800
市長と語ろう会に関する事	企画課 政策係	321・322

5 自治会加入促進

自治会加入の目的などを伝える

以前は、自治会は「必ず加入するものだ」という認識がありましたが、最近は「納得のいく理由がなければ加入しない」という人も増えています。

そのため、加入を呼びかけるときは、自治会が地域でどう役立っているかをしっかり伝えることが重要です。

例えば、防犯灯は自治会が設置していますし、地域の環境美化活動など、自治会では住みよい地域づくりのための活動を行っています。

自治会がこのような活動を行っていることは、日頃から活動に参加している人には当たり前のことでも、そうでない人には意外と知られていないものです。こうした点を積極的にアピールするのも加入促進の一つの方法です。



自治会加入促進チラシの配布

未加入者の加入促進は、多くの自治会に共通する課題です。

市は、自治会連絡協議会と共同で「自治会に加入しましょう」のチラシを作成し、全世帯にタウンメール（郵送）で配布するほか、転入者・転居者の異動届けのときに市民環境課・両出張所窓口で配布しています。

このチラシには、自治会に加入することの重要性や自治会活動の内容を掲載しています。

また、チラシには、転入者・転居者が自治会長へ連絡をすることができるように、自治会長の氏名と電話番号を市民環境課窓口で記入していますので、自治会長へ転入者等から電話がある場合があります。

6 自治会の個人情報保護



個人情報とは

個人に関する情報で、これに含まれる氏名、生年月日、その他の記述などにより、特定の個人を識別できるものをいいます。

個人情報保護法と自治会との関係

個人情報保護法で義務が課せられているのは、5,000件を超える個人情報を取り扱う事業者なので、自治会は、この法律の対象にはなりません。

しかし、個人情報が大切なものであることに変わりはないため、自治会も保護法の考え方に準じた取扱いをすることが望ましいといえます。

自治会における個人情報の取扱い

自治会が、活動していくためには、加入世帯の氏名・住所・電話番号・年齢など、ある程度の個人情報を持つことが不可欠です。

しかし、本人がだれにでも教えているわけではない情報が、自治会を通じて周囲に漏れてしまったりすると取り返しがつきません。

自治会は、個人情報保護法の対象となる事業所ではありませんが、取り扱っている情報が悪用された場合、被害を受けた側から、民法上の慰謝料請求を受ける可能性があります。

みんなの大切な個人情報を預かっていることを十分に認識し、信頼に応える取扱いを心がけることが大切です。

個人情報を取り扱うときの注意点

○ 利用目的をはっきりさせましょう

個人情報を集めるときは、利用目的をはっきりさせましょう。
集めた情報は、他の目的には使えません。

○ 本人の同意を得ましょう

個人情報の利用目的について、あらかじめ本人の同意を得ましょう。
趣旨を十分に説明し、同意が得られないときは、名簿に載せないなどの対応が必要です。

○ 必要な人だけが持ちましょう

だれでも、自分の情報が多数の人の目に触れるのは嫌なものです。
また、情報を持つ人が多くなれば、管理も難しくなります。
名簿をはじめ個人情報が書かれたものは、必要な人（役員など）だけが持つようにしましょう。

○ 外部の人に渡さないようにしましょう

本人の同意なしに個人情報をほかの人に渡さないようにしましょう。
電話番号なども、人に教える前に、教えてよいかどうか本人に確認することが大事です。

※ 自治会においても

大切な情報を守るため、
正しい管理に努めましょう。



7 自治会の法人化（認可地縁団体）

従来、自治会（地縁による団体）には、法人格が認められていなかったため、自治会が土地や建物などの不動産を所有していても、自治会名義で登記ができず、会長や役員などの個人名義で登記されていました。

個人名義での登記の場合、名義人の死亡や転居により、名義変更や相続などの問題が生じることがあります。

こうした問題に対処するため、平成3年4月に地方自治法が改正され、自治会が法人格を取得することにより、自治会の名義で不動産等の登記ができるようになりました。

地縁による団体とは

「地縁による団体」は、「町又は字の区域その他市町村の一定の区域に住所を有する者の地縁に基づいて形成された団体」（地方自治法第260条の2第1項）と定義されています。

つまり、自治会のように、一定の区域に住所を有する人は誰でも構成員になれる団体が「地縁による団体」です。

認可の要件

自治会が法人格を取得するには、市長の認可が必要です。

自治会が不動産等を保有しているか、保有する予定がある自治会のうち、いくつかの要件が備わっている必要があります。

※ 認可の要件の内容や、認可申請の具体的な手続方法等は、市民協働課にお尋ねください。

8 市からののお知らせ・お願い

(1)防災行政無線の取扱いについて 【総務課 防災対策係 内線313】



市役所又は消防署からの通信信号を受信し、トランペットスピーカーから音声や音楽、チャイムなどを流します。

隣接する拡声子局が干渉し合って放送が聞き取りにくくなるのを防ぐため、3つのグループに分けて時差放送を行っています。

しかし火災などの緊急放送の場合は、早急に知らせる必要がありますので最大音量で一斉放送を行います。

拡声子局にマイクロホンが付属しており、自治会での行事等の用件を放送することができます。

また、防災無線は市民皆様の財産ですので、取扱い等については十分注意してください。

- 屋外拡声子局には避雷針がついています。雷雨時にはブレーカーが落ちて機器の破損を防ぎます。

ブレーカーはオートリセットブレーカーを採用しておりしばらくすると自動でブレーカーが上がるようになっています。

雷雨時には雷の影響で機器が破損して聞こえなくなる場合があります。その時は防災対策係までご連絡ください。

- 自治会の用件等で放送された後、マイクの電源スイッチは必ず「切」にしてください。なお、お渡ししております鍵でボックスを開けていただくと、取扱説明書が貼付してあります。

- 市内 132 か所の拡声子局のうち、25 か所については災害時等の緊急時に市役所総務課と無線通話ができる受話器が設置してあります。

- 上記以外でお気づきの場合は、防災対策係までご連絡ください。

(2)災害発生時の報告と対応について

【建設課・農林整備課】

※ 災害が発生した際には、電話もしくは、口頭で状況をお知らせください。

災 害 発 生

えびの市役所 電話 35-1111

市道・河川
の災害



建設課
維持係
内線 235・247

農地・農業用
施設の災害



農林整備課
土地改良係
内線 225・245
・246

林道・山地
の災害



農林整備課
林務係
内線 221・229

災害発生時の報告

※ 農地・農業用施設災害については、16ページ資料「(6) 農地・農業用施設の災害復旧事業について」を参考にお願いします。

(3)道路の安全・維持管理について

【建設課・農林整備課】

市道・農道・林道の危険箇所や緊急に処理すべき箇所を発見した場合には、担当係へご連絡をお願いします。

また、市内道路状況について、職員も市内出張等の際に気を付けておりますが、自治会内における舗装の穴・くぼみ等がありましたら、ご連絡をお願いします。

市 道

建設課

補修係 内線 244

維持係 内線 235

農 道

農林整備課
土地改良係

内線 225・245
・246

林 道

農林整備課
林務係

内線 221・229



(4)七夕道づくりについて

【建設課 管理係 内線231・232】

例年、市道等の一斉清掃のご協力をいただいているところですが、7月に依頼したいと考えておりますので、よろしくお願いします。

道路愛護の実施として、県土木事務所の傷害保険が適用になりますので、仮に事故等が発生した場合には、状況の確認を自治会長が把握していただき、市建設課管理係（内線 231）にご報告をお願いします。

(5)農道の維持補修について

【農林整備課・土地改良係 内線225・245・246】

原材料支給要望がある場合には、まず農林整備課土地改良係（内線 225）に申請していただき、（アスファルト廃材等）受理されれば、自治会長・受益者との日程等協議を行い、支給することになります。

また、農地・水保全管理事業区域は、原材料支給はできませんのでよろしくお願いします。（アスファルト廃材を除く）

(6) 農地・農業用施設の災害復旧事業について

【農林整備課 土地改良係 内線225・245・246】

1 災害復旧事業とは

農林水産省所管の災害復旧事業において、『災害』とは異常な自然現象によって起こる農地・農業用施設等の損害をいいます。

この災害を国の補助を受けて復旧する事業を『災害復旧事業』といいます。

ただし、復旧事業として国に申請するには、雨量、被害額、受益戸数などの採択要件を満たす必要があります。（現場調査時に調査員が判断します）

①農地災害復旧事業～田・畑等の農地に関する復旧事業

②農業用施設災害復旧事業～農道・用排水路・ため池・堰等の農業用施設に関する復旧事業（ビニールハウスは除く）

2 災害復旧事業の申請手順

豪雨等により災害が発生した場合は、下記(①～③)のことについて、自治会長さんのご協力をお願いいたします。

（なお、被害報告は早めをお願いしたいと思いますが、出水時・強風時における調査等は、安全第一のため無理のないようにお願いします。）

①被災箇所数のとりまとめ（豪雨・台風等により被災）

後日、現場調査の案内をお願いしますので、場所等についても把握しておいてください。



②土地改良係へ電話等により被害報告（発生後3日程度の余裕あり）

市内全域の被害報告を課内で取りまとめ、効率的に現地調査ができるように地区割りを行い、再度自治会長さんに連絡を取り、調査予定日時を決めます。



③被災箇所（現地）の調査案内

職員が調査に伺いますので被災箇所の案内をお願いします。

このときに災害復旧事業として国へ申請できるか、採択要件に照らし合わせ判断します。

3 受益者負担金について（農地復旧の場合）

えびの市では、農地災害復旧事業については、分担金条例により事業実施するために、事業費の10%を受益者が負担することになっています。（ただし、事業費が反当限度額を超える場合は、10%以上になります。）

被害調査時に概算事業費を算出して負担額を提示し、受益者の署名・押印の上で事業申請書を提出していただき、国へ事業採択申請を行っています。

しかし、事業決定を受け工事着手の運びとなった時に、工事の中止（廃工）を申し出る方がいらっしゃいます。原則として災害復旧事業は申請事業であり、個々の事情により勝手に廃工することはできません。採択までに多くの経費・労力・時間等を費やしているばかりでなく、国は査定後に直ちに予算措置を行いません。

よって、農地の被害報告また申請にあたっては、この受益者負担があることを、申請者（土地所有者等）に十分説明し、理解をいただいてください。

4 その他

○事業申請をするにあたり、調査・測量を行なう必要がありますので、写真撮影・測量のため、関係者により草払い・ヤブ払い等をお願いします。

○近年、国の査定時に維持管理不足を指摘される場合がありますので、特に農道・水路につきましては、常日頃より維持管理に努めてください。（維持管理状況調書＝草払い等の写真・作業日報を添付する必要があります。）

○耕作放棄地とみなされる農地は、事業申請できません。（ただし、肥培管理を行い、耕作しようとするれば直ちに農地として使用できる休耕地は除きます。申請時に減反証明書の添付を要求されます。）

○復旧工事の実施は、国の審査である災害査定後になりますので、早くても被災年の12月頃となりますのでご理解ください。

○申請に対して査定結果が厳しいことがあります。（復旧延長等の削除）

※ご不明な点は、農林整備課 土地改良係（内線225・245・246）まで遠慮なくご連絡ください。

(7)「市長と語ろう会」について

【企画課 政策係 内線321・322】

市では、市民が気軽に市長と意見交換ができる場をつくることで、市民の皆さんと情報を共有し、また、市民目線に立った行政運営や市民参加のまちづくりを進めることを目的として、下記の要領で「市長と語ろう会」を実施しています。

1. 日程（平成25年度）

平成26年3月までで、自治会が希望される日・時間

※開催日・開催時間（昼夜を問いません）は、できるだけ自治会の希望に沿うようにしますが、調整させていただくこともあります。

※市議会開会中の開催時間は、午後5時以降に限ります。

2. 内容

市長との意見交換など

3. 出席予定者

市長及び事務局（企画課）

その他必要に応じ出席者を決定します。

4. 開催地

自治会ごとに開催します。

なるべく多くの市民の方に参加していただきたいので、複数自治会での合同開催も可能です、自治会連名で申請してください。

5. 申し出方法

別紙の「市長と語ろう会開催申出書（様式）」に希望日時（必ず第2希望まで）と語ろう会のテーマ・内容を記入して企画課に提出してください。

市長の日程を調整して、開催が決定しましたら開催通知をいたします。

6. 申し出期限

特に期限は設けませんが、日程調整上、なるべく早めをお願いします。

7. 主催者・会場・使用料

①市と自治会の共催とします。

②会場は、自治会で確保いただくようお願いします。

③使用料は、市の施設は無料としますので、公民館等についても無料をお願いします。

8. 自治会員への周知

自治会員への周知は、各自治会で行っていただきますが、必要であれば参加を呼びかける回覧文書を企画課で作成し、開催前月の文書送達日に自治会長へお届けします。

9. その他

①市長と語ろう会は、市民の皆さんと市長との市政に関する意見交換の場です。個人的な苦情・陳情・要望等をご遠慮ください。

②懇親会など飲食が伴う会が同時に予定されている場合は、受付できません。

その他、不明な点等については、企画課政策係（内線321）までお問い合わせください。

※開催申出書は、次のページのとおりです。

様式

平成 年 月 日

(宛先) えびの市長 村 岡 隆 明

.....自治会長 氏名.....

.....自治会長 氏名.....

.....自治会長 氏名.....

「市長と語ろう会」開催申出書

このことについて、下記のとおり市長と語ろう会の開催を申し出します。

記

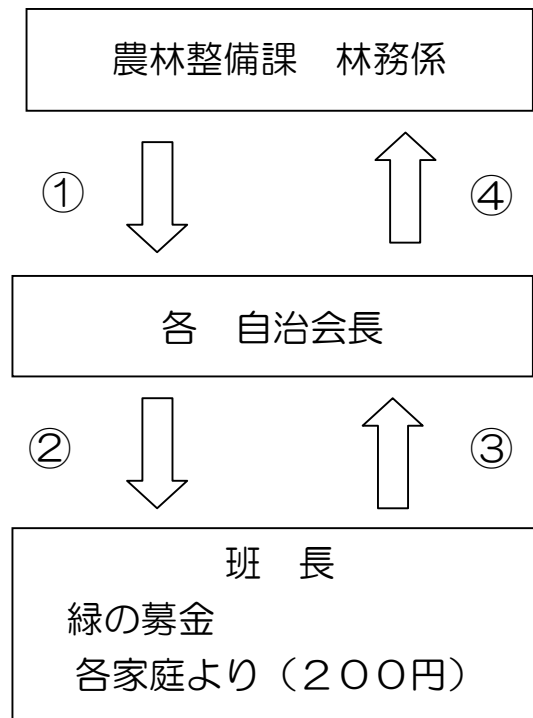
第1希望	平成 年 月 日 午前・午後 時～ 時
第2希望	平成 年 月 日 午前・午後 時～ 時
会 場	
代表者連絡先	氏名 電話
市長と語ろう 会のテーマ・ 内容	※必ずご記入ください。

連絡先：企画課政策係 電話 35－1111（321）

(8)「緑の募金」について

【農林整備課 林務係 221・229】

(えびの市みどり推進会議事務局)



〈事務の手続〉

- ① 毎年、「緑の募金」運動の家庭募金の期間を4月1日～5月31日とし、自治会長へ協力依頼をします。
- ② 自治会長より、各班長を通じて1戸あたり200円の協力をお願いします。
- ③ 自治会長は、各班長が集めた募金を取りまとめてください。
- ④ 自治会長が、自治会の分を取りまとめて農林整備課林務係に提出してください。

(自治会又は班ごとに領収書を配布します。)

※ 募金はすべて宮崎県緑化推進機構へ納入し、還付され「緑の募金」事業に活用されます。

緑
の
募
金

(9)文化センター各部屋の利用について

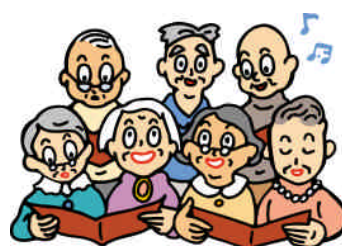
【社会教育課 文化係 TEL35-2268】

文化センターは、次の各部屋の利用ができます。

ご利用については、社会教育課文化係までお問合せください。

1 階	会議室	会議室Ⅱ	団体室	調理室	日本間
利用可能人数	14名	27名	36名	37名	45名
備 考	円卓	スクール形式			

2 階	大研修室	美術工芸室	視聴覚音楽室
利用可能人数	126名	40名	48名
備 考	スクール形式		



(10)市民体育館・各地区体育館の利用について

【社会教育課 市民体育係 TEL35-2268】

- ※ 市民体育館及び各地区体育館の利用については、社会教育課市民体育係まで空き状況の確認をしてください。
- ※ 自治会活動で使用する場合は、原則使用料は無料です。ただし、練習等で使用する場合は、電気料を納めていただきます。
(※金額は1時間当たり・別途消費税が必要となります。)

■えびの市民体育館

- 全面（使用料310円 電気料630円）
- バレーボール3面（使用料100円 電気料210円）
- ミニバレーボール7面（使用料40円 電気料90円）

■飯野駅前地区体育館

- 全面・バスケットボール1面（使用料260円 電気料310円）
- バレーボール2面（使用料130円 電気料150円）
- ミニバレーボール3面（使用料80円 電気料100円）
- 集会室（使用料80円 電気料100円）

■上江地区体育館

- 全面・バスケットボール1面（使用料260円 電気料310円）
- バレーボール2面（使用料130円 電気料150円）
- ミニバレーボール3面（使用料80円 電気料100円）

■加久藤地区体育館

- 全面・バレーボール1面（使用料210円 電気料210円）
- ミニバレーボール3面（使用料70円 電気料70円）

■真幸地区体育館

全面・バスケットボール１面（使用料３１０円 電気料４７０円）

バレーボール２面（使用料１５０円 電気料２３０円）

ミニバレーボール３面（使用料１００円 電気料１５０円）

サブアリーナ（舞台）（使用料１００円 電気料７０円）

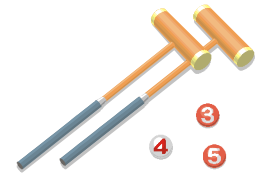
集会室（使用料３１０円 電気料３０円 冷暖房１７０円）

■王子原運動公園野球場

使用料５２０円 ナイター使用料６，３００円 ※運動広場は無料

■神社原運動公園

ナイター使用料１，５７０円 ※使用料は無料



■永山運動公園

テニスコート３面（使用料２１０円 照明使用料２１０円）

※運動広場は無料。

※ 各種用具貸出については、事前に予約をお願いします。

借用書の提出が必要となります。

様式は社会教育課に準備してありますが、自作でも構いません。

※ 各運動公園の申請書及び物品借用書は、各地区コミュニティセンターにも準備がしてありますので、そこで申請もできますが、必ず事前の空き状況の確認及び予約をお願いします。

(11) 公用車・備品の貸出しについて

【市民協働課 353・352】

市民の公益活動に、市の公用車・備品の貸出しを行います。

■ 公用車貸出し

貸出対象者：自治会、高齢者クラブ、子ども会育成会 等

貸出公用車：青色防犯パトロール車、2トンダンプ、
軽箱バン（スピーカー付き）、軽貨物車

使用目的：次の活動等に使用することができます。

- ・市内の防犯パトロールや交通安全指導
- ・市内の道路、河川、公園等の美化活動や清掃活動
- ・スポーツ大会、イベント等の広報や備品の運搬 等

使用料：無料ですが、燃料代は負担していただきます。

※ 青色防犯パトロール車の青色回転灯を使用する場合は、パトロール実施者証の取得が必要です。

■ 備品貸出し

貸出対象者：自治会、高齢者クラブ、子ども会育成会 等

貸出備品：椅子、机、テント、ハッピー、プロジェクター、
ワイヤレスアンプ、台車、グラウンドゴルフセット、国旗、市旗 等

使用料：無料ですが、乾電池などの消耗品、ハッピー等のクリーニング代などは、使用者で負担していただきます。

(12)地区担当職員・地域コミュニティ担当者について

【市民協働課 353・352】

平成20年度から各自治会に地区担当職員を配置しています。
また、今年度からは、地域コミュニティ担当者を配置します。

■地区担当職員

各自治会に3名程度の職員を配置しており、毎月の文書発送日（原則20日、例外あり）の前日（その日が休日のときはその前日）に、地区担当職員が担当地区の行政事務連絡員（自治会長）のお宅に文書を持っています。

■地域コミュニティ担当者

各自治会に、行政事務に精通した職員1名を配置します。

自治会の要望に応じて総会・行事等へ参加したり、自治会が自主的に行う行事の際に行政情報を提供したり、公用車・備品を借用するときの取次ぎをしたり、地域コミュニティに必要な行政的活動支援を行います。

また、行政に対する地区の要望等で担当課がわからない案件がありましたら、「要望等処理記録簿」にご記入の上、地域コミュニティ担当職員に渡していただければ、担当課等へつなぎます。

※ 要望等処理記録簿は、必ず作成しなければいけないものではありません。例えば、自治会長が直接担当課に出向かれる時などは、要望等処理記録簿の作成の必要はありません。

要望等処理記録簿

太枠内にご記入ください。

自治会長名	() 自治会 自治会長氏名 ()
申 出 日	平成 年 月 日
相 談 ・ 要 望 等 の 内 容	

市 処 理 欄			
地域コミュニティ 担当職員名		市民協働課 受 付 日	年 月 日
担 当 課 名		担当課回付日	年 月 日
自治会への回答内容			
回答期限 年 月 日			

※ 自治会への回答は回答期限内にしてください。

※ 担当課は、回答した内容を市民協働課・地域コミュニティ担当職員に報告してください。

9 行政事務連絡業務

(1)自治会加入世帯数の変更について

【市民協働課 353・352】

次のような場合は、市民協働課に電話などでお知らせください。

- 自治会加入世帯数、回覧数が変更になったときは、増減数を市民協働課に連絡してください。

自治会加入者又は脱退者本人からの連絡は、その加入又は脱退を自治会長さんが把握しているか確認できないため、受け付けていません。

必ず行政事務連絡員(自治会長)から市民協働課に連絡してください。

- 文書発送日の10日前までに連絡のあった変更は、変更部数で発送しますが、当日又は数日前に連絡のあった変更は、間に合わないことがありますので、早目の連絡をお願いします。

(2)行政事務連絡員(自治会長)の交代について

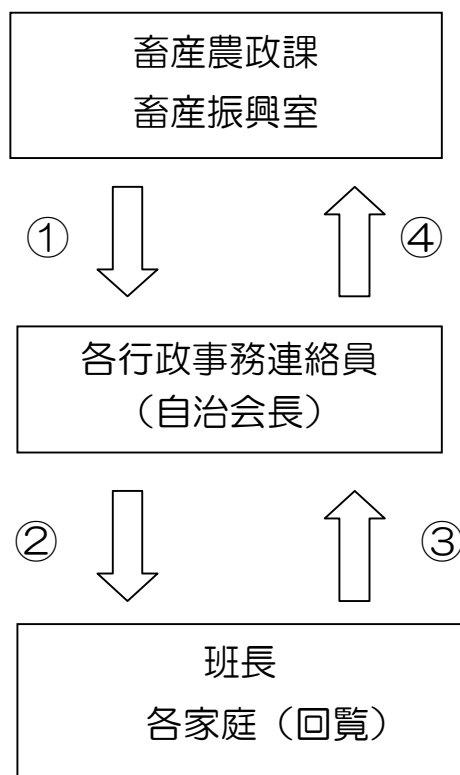
【市民協働課 353・352】

年度途中で、行政事務連絡員(自治会長)の交代があった場合は、すぐに市民協働課に変更届を提出してください。

変更届の用紙は、市民協働課にあります。

(3)家畜頭羽数及び飼料作物の作付面積の調査について 【畜産農政課 畜産振興室 内線222・236】

〈年 1 回、2 月実施〉



〈事務の手続〉

- ①毎年、2月の行政事務連絡会議で、回覧の調査票において、行政事務連絡員（自治会長）へ調査を依頼します。
- ②行政事務連絡員（自治会長）から、各班長を通じて調査票を回覧してください。
- ③回覧後、班長は、調査票を行政事務連絡員（自治会長）へ提出してください。
- ④行政事務連絡員（自治会長）は、3月の行政事務連絡会議までに、調査票を、市畜産農政課へ提出してください。

(4)平成25年度転作推進活動計画について 【畜産農政課 農産園芸係 内線223】

平成 25 年度の転作推進活動計画は、下記のとおりです。

平成25年度転作推進活動計画

時期（予定）	活動名	内 容	行政事務連絡員 （自治会長）の 業 務
平成25年 4月～5月	転 作 計 画 受 付	自治公民館で転作計画書の 受付を行います。同時に、共 済による水稻共済の受付、農 協の米の予約等も実施され ます。	受付日に自治公民館 の開閉
平成25年 5月	5月 転作現地 確認調査	今年度第1回目の転作現地 確認調査です。主に、レン ゲ・麦・たばこ・にんにく等 の作付状況を調査します。 （ 該 当 地 区 の み ）	—
平成25年 7月～8月	7～8月 転作現地 確認調査	今年度第2回目の転作現地 確認調査です。夏場の転作作 物の作付確認及び転作計画 田へ水稻が作付されていな いか確認するため、全ての転 作計画田を調査します。	各自治会の推進委員 と市職員との班に分 れ現地確認調査
平成25年 11月～12月	11月～ 12月転 作現地確 認調査	今年度第3回目の転作現地 確認調査です。主に、イタリ アン等の作付確認を実施し ます。（水稻作付後の二毛作 確認も含む）	各自治会の推進委員 と市職員との班に分 れ現地確認調査

お住まいの“自治会”に 加入していますか



自治会について

えびの市には、地域の自治組織「自治会」があります。

自治会は、地域に住む人々が、自分たちの住む地域を、より快適で住みよい環境にするために、さまざまな活動を行っています。

自治会に加入して親睦や交流を深め、地域の共通の課題に協力し合って取り組み、よりよい地域づくりを進めましょう。



ご近所づきあいって大切！！

自治会は、市民の皆さんに一番身近な地域の自治組織です。

日常生活では気づかないかもしれませんが、地域の自治会の自主的な活動によって、さまざまな恩恵を受けています。

また、災害などの「いざというとき」には、自治会の役割が非常に重要になってきます。

最近の地震や豪雨による災害等の際にも、自治会が中心となって避難誘導や安否確認、避難所運営や復旧活動を行うなど、地域でのお互いの助け合いが何より必要になります。

日頃からのご近所づきあいや地域活動への参加を通じた、顔の見える関係づくりが、もしものときの頼りになります。

自治会では、住みよい地域づくりのために、 こんな活動をしています。

自主防災・互助活動

地震・水害・火災等の災害に対処するための自主防災組織を設置したり、災害等に見舞われたときには、お互いに助け合ったりしています。また、一人暮らしの見守り活動もしています。



環境・美化

ごみステーションの設置や維持管理、道路や側溝、地域の広場・公園の清掃など、環境美化活動を行っています。



防犯灯の設置・地域安全



夜道を安心して歩けるよう、防犯灯の設置・維持管理をしています。また、見まわり活動など、犯罪のない安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいます。

各種団体の育成・協力



子ども会育成会、高齢者クラブ、郷土芸能保存会など、地域団体の育成・協力に努めています。

交通安全

カーブミラー設置の申請や通学路・生活道路での交通安全指導を行っています。



地域情報の提供

地域情報の回覧など、皆さんの生活に必要な情報を提供しています。



これらの活動の経費は、地域の皆さんからいただく大切な自治会費によってまかなわれています。

地域で一緒にまちづくりをしましょう！

ご自分の住む地域の一員として、できる範囲で協力し合い、助け合って、住みよい地域づくりに参加してみませんか？

- 新たに自治会に加入したい方は、
ご自分の地区の自治会長に連絡をしてください。
- ご自分の居住する地区の自治会長の連絡先などが分からないときは、
市役所市民協働課（電話 3 5 - 1 1 1 1 内線 3 5 2 ・ 3 5 3）へお尋ねください。